COC+カフェの開催

COC+カフェとは
学生、地（知）の案内人と地域の皆さんで地域の未来を語り合う場として、2箇所の演習先でCOC+カフェを開催しました。

COC+ CAFE

ABOUT

RADIO
KYOTO

2017.9.25
RADIOMIXKYOTOより
ラジオ出演
COC+カフェの広報をしました。

2017.9.29
つねよし百貨店
(京丹後市・大宮町)
～農業の未来～

2017.9.28
FLAT+(舞鶴市・平野屋)
～商店街の活性化～

COC+学生チームによる地域の魅力発信

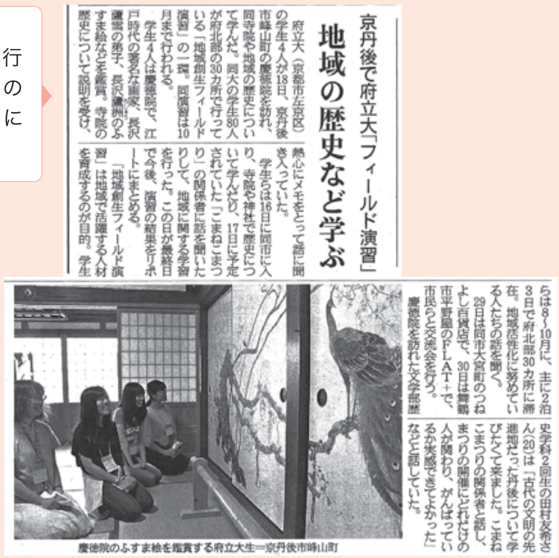
学生有志のチームでは、COC+の演習やNPO法人 里山ネットワーク世屋の活動に参加しその様子を動画にまとめました。ホームページにアップするなどして発信しています。

2017.8月～11月
“暮らしの柿渋づくり”

2017.11月～2018.1月
“暮らしのかんじきづくり”

演習の成果を広く公表

2017.9.19
こまねこまつり実行委員会での演習の様子が産経新聞に掲載されました。



京丹後で府立大「フィールド演習」

地域の歴史など学ぶ

府立大（京都市左京区）の学生4人が18日、京丹後市峰山町の慶徳院を訪れ、同寺院や地域の歴史について学んだ。同大の学生80人が府北部の30カ所で行っている「地域創生フィールド演習」の一環。同演習は10月まで行われる。

学生4人は慶徳院で、江戸時代の著名な画家、長沢蘆雪の弟子、長沢蘆洲のふすま絵などを鑑賞。寺院の歴史について説明を受け、熱心にメモをとって話に聞き入っていた。

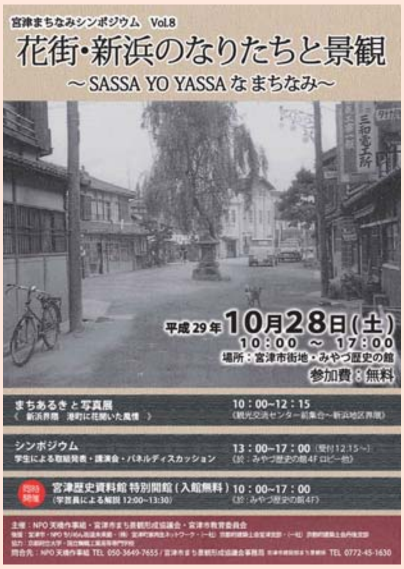
学生らは16日に同市に入り、寺院や神社で歴史について学んだり、17日に予定されていた「こまねこまつり」の関係者に話を聞いたりして、地域に関する学習を行った。この日が最終日で今後、演習の結果をリポートにまとめる。

「地域創生フィールド演習」は地域で活躍する人材を育成するのが目的。学生らは8～10月に、主に2泊3日で府北部30カ所に滞在。地域活性化に努めている人たちの話を聞く。

29日は同市大宮町のつねよし百貨店で、30日は舞鶴市平野屋のFLAT+で、市民らと交流会を行う。

慶徳院を訪れた文学部歴史学科2回生の田村友希さん(20)は「古代の文明の先進地だった丹後について学びたくて来ました。こまねこまつりの関係者と話し、まつりの開催にどれだけの人が関わり、がんばっているか実感できてよかった」などと話していた。

慶徳院のふすま絵を鑑賞する府立大生＝京丹後市峰山町


宮津まちなみシンポジウム　Vol.8

花街・新浜のなりたちと景観
～SASSA YO YASSA なまちなみ～

平成29年10月28日(土)
10：00 ～ 17：00
場所：宮津市街地・みやづ歴史の館
参加費：無料

まちあるきと写真展　10：00～12：15

シンポジウム
学生による取組発表・講演会・パネルディスカッション　13：00～17：00

宮津歴史資料館 特別開館（入館無料）　10：00～17：00

2017.10.28
宮津まちなみシンポジウムに奥谷三穂特任教授と環境デザイン学科2回生の学生が登壇し、COC+の演習の成果を発表しました。